

まちなかアート開催を



アートによるまちづくりについて意見を交わした検討会

設を活用した「ゼロダ
テアートプロジェクト」
（秋田県大館市）など、
国内外のアートによるま
ちづくりの八つの事例を
紹介した。

これらを踏まえ、企画
立案から市民が参画する
アートトリエンナーレ
や、空き店舗や横丁の活
用、はっちやYSアリー
ナなど他の公共施設と連
携し民芸や手芸作品など
市民も気軽に参加できる
マルシェなど、美術と中
心市街地をつなげたアー
トプロジェクトを提案。

実施に向けて、アートを
マネジメントする人材育
成が必要だとした。

発表を聞いた八戸学院
大の水野眞佐夫学長は
「実現には人流と滞在人
口を増やすことが必要」
とYSアリーナの活用を
訴え、熊谷雄一市長は「調
査研究の成果をまちづく
りの参考にしたい」と述
べた。

（三好陽介）

官学チーム 中心街活性化へ提言

八戸

八戸市と八戸学院大、
八戸工業大、八戸高専の
職員や教員が同市の課題
について調査研究する八

戸市都市研究検討会がこ
のほど、同市庁で開かれ
た。昨年11月に開館した
美術館を軸とした中心市
街地活性化について研究

プロジェクトチームが報
告し、「（仮称）はちの
へまちなかアートプロジ
ェクト」の定期開催を提
言した。

同チームは、3年に1
度開催される現代アート
の祭典「大地の芸術祭
越後妻有アートトリエン
ナーレ」（新潟県）や、
百貨店や廃校など遊休施